



．．．麻溝地区．．．

麻溝地区は、相模原ギオンスタジアム、相模原麻溝公園や県立相模原公園、相模川周辺など、緑豊かで史跡や景勝地も多く、自然を満喫できる地区です。また、圏央道の「相模原愛川インターチェンジ」が開設され、今後はさらなる発展が期待されます。

イチ押し写真大賞



【撮影者】境 みのる

【タイトル】花の谷

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】相模原市立麻溝公園にある「花の谷」の春です。三色のチューリップ、新緑の木々、青い空が花の谷に春の彩りを添えています。この風景を眺めていると心がウキウキとしてきます。

審査員寸評

春の麻溝公園の素晴らしいポイントを発見してくださいました。チューリップの赤と黄の色彩コントラストが強い印象で目に飛び込んできます。まるでオランダのチューリップ畑を見ているようです。前景をグッと引き付けるレンズワークにも技量を感じます。

麻溝地区優秀賞

【撮影者】大原 宏麗

【タイトル】感謝を込めて

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】相模原公園では、いつ行ってもいろいろな綺麗なお花を觀賞することができます。今年の真夏、炎天下のある日、公園のグリーンハウスの前で、お花の水やりをしているスタッフさんを偶然見かけました。ひたむきに水やりをする姿に心を打たれ、シャッターを切りました。



審査員寸評

相模原公園で水やりをする様子ですが、シャワーする水滴が太陽の光を受けて輝く様子を印象的に捉えることができました。背景を日陰にして水滴を際立たせた位置を選択したことも成功の一因でしょう。露出の決定も難しい状況ですが、オーバーにならないようコントロールされています。シャッタースピードも高速で飛び散る水滴を止めたところなど技術の高さが分かります。



イチ押し人気投票賞



【撮影者】KKK（ペンネーム）

【タイトル】水の城

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】噴水をみた娘が「お城みたい！」と言っていたので、このタイトルにしました。噴水はとても大きく迫力があり、子どもも大人も一緒に楽しめます。また、噴水の両サイドにあるメタセコイア並木は季節によって色が変わるため、1年中楽しめるスポットとなっています。

審査員寸評

まばゆいばかりの作品ですね。太陽が光芒を引いて輝き、噴水が陽を浴びて光っています。希望に満ちた雰囲気を作り出しています。手前に取り込んだ娘さんのポーズも動きがあって大変結構です。現在社会の自粛ムードを吹き飛ばしてくれるパワーをもらった気がします。

【撮影者】坂上 和正

【タイトル】元気な春

【撮影場所】古山公園

【コメント】中央区との境を接する南区の片隅にある隠れた桜の名所。下溝古山公園スポーツ広場の周囲に植えられた桜の古木は見事。広場のグラウンドでは少年たちの元気な声が響いていました。（この撮影の翌年コロナ発生。一日も早く、また元気な声が聞かれますように。）



【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】春節句のころ

【撮影場所】県立相模原公園グリーンハウス前

【コメント】晴天に恵まれぶらっと散歩に出たところ、偶然にもグリーンハウス前の花壇に「ひなまつり」と花の文字が目に入り撮影したのですが、後方の噴水が時のせいか作動していなかったが残念でした。





【撮影者】境 みのる

【タイトル】リフレクション

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】県立相模原公園のフランス式庭園にある金属製オブジェの鏡面に映るグリーンハウスが、ディズニーランドにある「シンデレラ城」のように見えました。計算か、偶然か、どちらにしても素敵な風景です。



【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】晩秋の聲

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】秋色に輝くメタセコイヤに囲まれた相模原公園の噴水は、キラメキながらはじける水音で周囲に晩秋の聲を響かせていた。

【撮影者】内村 龍二

【タイトル】プチ紅葉に遭遇

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】秋の昼下がり、いつもの愛犬との散歩中、緑と朱色のまだら模様の一本の木に遭遇しました。光と影の中の紅葉の始まりに出会い、カメラにも映像を残しました。





【撮影者】小峰 伊津子
【タイトル】休憩を取るバッタ
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】紫陽花の葉っぱの上にひと休みしているバッタが、とても愛らしく感じられた。

【撮影者】加藤 昌位
【タイトル】ステイホームからの脱出。
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】学校も休校しステイホームで思うように外出できなかつた頃、ストレスを発散するべく久しぶりに広い公園のお花畑の周りを兄弟で嬉しそうに追いかけていたところを写真に収めました。



【撮影者】吉富 明德
【タイトル】ネモフィラの海にて！！
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】毎年四月、県立相模原公園の芝生広場からイベント広場一帯は初夏の花瑠璃唐草のネモフィラの花で彩られコバルトブルーの海、果てしない宇宙のような美しさとなる。ネモフィラは、本当に一本一本は小さな愛らしい花であるが、こうして数万本が作り出す集合美の下、その先に聳える森の木展望台と、その下で休息&寛ぐファミリー群、公園の広さ、美しさを表現。



【撮影者】摺元 正憲

【タイトル】薄暮の公園

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】日中は沢山の人々が憩いの場として楽しんでいる。陽が暮れだし、人々が三々五々家路につく頃、街灯が祭りの後の寂しさを照らしている。



【撮影者】高橋 ゆかり

【タイトル】静かな初詣

【撮影場所】下溝八幡宮

【コメント】お世話になった学校の近くに、静かに佇む神社がありました。一度はお参りしようと思っていたながら、いつもその傍を素通りしていました。新年を迎えて初詣に行ってみようと思い立ちお参りしたところ、人の気配も無く、本当に静かな中でゆっくり神様に御願い事ができました。赤い提灯が初春の光に映えて、新年を迎えた気持ちが高揚しました。



【撮影者】大原 宏麗

【タイトル】不思議の国のアリス

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】毎年梅雨の時期になると、相模原麻溝公園で美しい満開の紫陽花を見ることができます。公園内の散歩道を歩いていると、紫陽花を鑑賞している女の子を見かけました。その様子がまるでディズニーのアニメーション映画「不思議の国のアリス」のワンシーンのようでとても可愛らしかったので、写真に収めました。





【撮影者】三戸 克太

【タイトル】秋色

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】公園内の草原で見つけた可愛い実に秋を感じました。

【撮影者】三戸 克太

【タイトル】花壇と時計台

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】相模原公園のシンボルの一つだと思う時計台、季節の花が美しい。



【撮影者】春木 紀子

【タイトル】夕暮れ時

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】散歩の帰りここを通るたび思い出す！孫と遊んだ可愛い遊具、今も色鮮やかに子どもたちの来るのを待っているんだね。イチ押しの遊び場です。





【撮影者】水城 八重子

【タイトル】いちごの木

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】珍しい木を見ました。花と実が一緒になって、しかも可愛らしいさに、ついパチリ。



【撮影者】水城 八重子

【タイトル】コスモス

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】相模原公園は全体を歩いていないので、今後も通いたい公園です。コスモスが美しかったです。

【撮影者】渡邊 和義

【タイトル】雨に歌えば

【撮影場所】県立相模原公園の菖蒲・アヤメ園

【コメント】やはり菖蒲やアヤメは雨に似合う。雨に打たれて日頃の埃を化粧水の如き雨に洗い流された花弁からは、生き生きとして今にも歌い出しそうな、もえる思いがうかがえる。





【撮 影 者】渡邊 和義
【タイトル】秋空へ、とどけ歓声！
【撮影場所】相模原麻溝公園の広場
【コメント】真っ青に晴れた秋空のもと、周りを色取り取りのテントの花に囲まれて、親子が思い思いの遊びに耽っています。親子の歓声が、秋の澄み切った青空高くまで響き届きそうです。

【撮 影 者】峰尾 昌子
【タイトル】芝生で遊ぶ小鳥
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】広い芝生の中に小鳥が一羽チョンチョンと跳ねる様に移動している、芝生を啄む様子を撮りたいと思いましたが、動くのでなかなか取れなかった。



【撮 影 者】峰尾 昌子
【タイトル】素敵な排水溝
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】公園に向って駐車場の出口の排水溝の枠の中に紅葉した葉が見えました。よく見ると中に木が生えていて、生木の紅葉が排水溝の中にあり美しい紅葉でした。



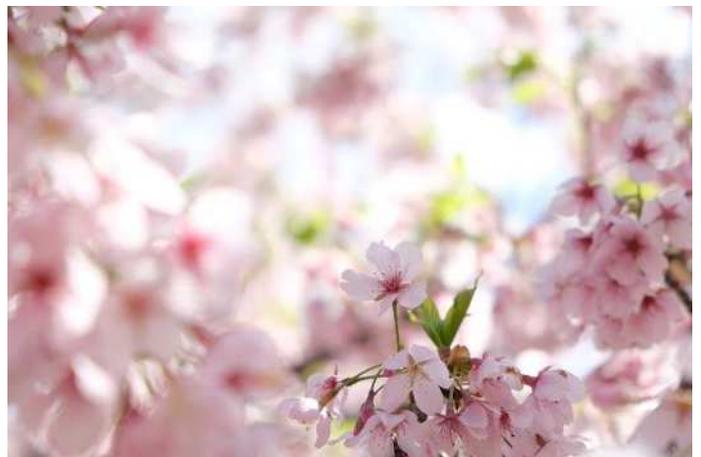
【撮影者】田所 治雄
【タイトル】変わり行く下当麻（もと田んぼ）
【撮影場所】当麻坂（芹沢）
【コメント】田んぼが進化し商店や工場へ。



【撮影者】田所 治雄
【タイトル】青々とした稲が美しい
【撮影場所】当麻の水田
【コメント】小学生も付近に稲を植えています。



【撮影者】山田 晃子
【タイトル】背のびした天使
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】桜の撮影に行った所、こちらを見て、
わらっている様に見える桜の花。素敵な笑みをお
さめました。





【撮影者】佐藤 康子
【タイトル】展望台
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】相模原公園のシンボルの展望台と、めずらしいミニ柿をフラッシュを使い撮りました。

【撮影者】堀米 和夫
【タイトル】咲き誇る
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】この公園の花菖蒲が咲き、どの花も素晴らしく綺麗に咲き誇って居ました。この日、緋の衣装を着た娘さんがおられ、雰囲気盛り上げてくれました。



【撮影者】堀米 和夫
【タイトル】オアシス
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】日々雑踏の中での生活を強いられている現代、物静かで噴水の水音に疲れを癒し、心に安らぎを与えてくれる。都会の砂漠の中の「オアシス」その物と感じました。



【撮影者】竹内 三枝子
【タイトル】ネモフィラの彩り
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】ステイホームに疲れ、麻溝公園に出かけるとネモフィラが咲いており、うれしくて青空をバックに、シンボルタワーが入るよう撮りました。



【撮影者】竹内 三枝子
【タイトル】サイコの丘
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】相模原にゆかりのあるミシマサイコが見ごろと聞き、行ってみました。小さな花の集まりなのに、野の花の力強さも感じ 柴胡が原になるといいなと思い撮影しました。